

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ

参考資料

【小項目評価基準】

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。
 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。
 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

大項目	小項目	病院機構による自己評価	第1回でのご意見による変更内容	評価の判断理由・評価のコメントなど	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	4	集学的・包括的な診療のため、新たに川崎病センターやてんかんセンターを設置するなど診療体制の強化を図ったほか、国家戦略特区を活用した産科病床の6床増床、救急受入体制の強化による救急搬送件数の大幅増など、新病院の移転開院直後にも関わらず、年度計画を上回って実施している項目を積極的に評価し、「評価4」とする。	
		市民病院	4	循環器内科医を2人、感染症専門医を2人、血管外科医を1人増員するなど診療機能の充実・強化に取り組むとともに、循環器救急搬送患者の受入拡充を図ったことにより、循環器領域で手術件数やカテーテル治療等が増加するとともに、脳卒中領域でも手術件数が増加するなど、年度計画を上回って実施している項目を積極的に評価し、「評価4」とする。	
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	3	4	紹介率とオープンカンファレンスの回数がやや目標値を下回っているものの、その他の指標については、確実に目標値を達成していること、また、周産期センターの人員体制強化や年間1,000件以上の救急搬送患者受入、粕屋医師会との連携強化など、新病院開院後の変動期にありながら、地域の医療機関との連携強化に努めていることなどから総合的に勘案し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	4		紹介率、逆紹介率などすべての指標で実績が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(3) 災害時等の対応	こども病院	3		市立病院としての役割を果たすため、必要物品の備蓄や防災マニュアルの見直し、メディカルラリーでの優勝など、災害発生時を想定した対応準備に万全を期していることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	4		
		市民病院	3	4	小児在宅医療推進ワーキンググループを立ち上げ、きめ細やかな患者支援を行ったほか、患者や病院施設利用の意見を踏まえ、駐車場料金の見直しや売店・レストランの利便性向上を図り、また、ふくおかハウスの運営に対する協力や外国人患者が円滑に受診できるような医療提供体制が整備されていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(2) ボランティアとの共働	こども病院	3		会計窓口の拡張や待合スペースの拡充など外来患者の利便性に努めたほか、入院ベッドの更新など療養環境の整備を行った結果、患者満足度調査における平均評価点数が目標値を上回ったことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	3		職員によるボランティアコーディネーター養成研修の受講や院内委員会における支援内容の検討など、院内のボランティア受入体制整備に努めるとともに、ボランティアイベントの誘致促進を図るなどしていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4		
		市民病院	4		
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	4		新病院の本格稼働に向け、医師や看護師等を大幅に増員するとともに、院内研修について外部講師の活用などによる内容充実を図ったほか、全職員向けの医療英語研修会や小児科専門医を目指す後期研修医向けのランチゼミの開催など、様々な視点から教育・研修制度の充実を図っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	4		医師や看護師等を増員するとともに、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトの取組等により引き続き職員が働きやすい職場環境づくりを推進し看護職員離職率が低下(26年度10.5%→27年度7.7%)したほか、新たに創設した専門看護師の資格取得支援制度において1人が受講を開始するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(3) 法令遵守と情報公開	こども病院	3		院内死亡・死産事例検討会を設置するなど医療安全対策の充実を図るとともに、管理栄養士など他職種による「食育・歯育・保育」の取組を開始したほか、医療の質向上のため全国のこども病院と連携して「臨床指標」を策定したこと、さらに、薬剤管理指導件数及び栄養食事指導・相談件数いずれも目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	3		RRS等の新たな手法を用い医療安全対策の徹底を図ったほか、クリニカルパス適応率の向上、すべての病棟への薬剤師配置を行ったことに加え、薬剤管理指導件数及び栄養食事指導・相談件数のいずれも目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
不祥事防止及びコンプライアンスの推進を図るため院長訓示や職員対話など様々な機会を通じて職員の服務規律の指導を徹底するとともに、両病院ともホームページや広報誌、講演会等により分かりやすい情報発信に努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。					
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	こども病院	3		市立病院機構の運営を的確に行うため、理事会を計10回開催し、理事会の方針決定に沿った運営を行った。また、両病院とも、病院長のリーダーシップの下、幹部会議の定期的な開催や組織体制の見直しなど機動性の高い病院経営に取り組んでいることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
	市民病院	3			
	こども病院	3		「事務職員人材育成プラン」を踏まえた人事異動や管理監督者・主任級を対象とした研修の実施、中堅職員を対象とした外部研修への参加など、事務局全体の機能強化に努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
市民病院	3		医師以外の管理職を対象とする管理職目標管理制度の試行や両病院におけるワーク・ライフ・バランスの推進など、職員の意欲を引き出す取組みを行っていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					
1 経営基盤の強化	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	こども病院	3		
		市民病院	3	病院機構の経営会議により経営状況の検証や課題の分析を行うとともに、両病院においても幹部会議にて病床利用率の向上をはじめ喫緊の課題等への対応を図っている。また、福岡県による新設補助金の獲得など経営基盤の確立に努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
2 収支改善	(2) 投資財源の確保	こども病院	3		
		市民病院	3	収支改善による利益確保や定期預金利率に関する入札の継続実施などで自己財源の確保を行うとともに、価格交渉の徹底による費用抑制など効果的な予算執行に努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
	(1) 増収	こども病院	3		患者の受入調整を行っていた病床の稼働数拡大や新設診療科への医師の増員、治験(製造販売後調査)の積極的な実施などにより増収が図られていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	4		1日当たりの入院・外来単価や手術件数等の増加等により、医業収益は前年度実績を大きく上回っていることから、経常収支比率や医業収支比率等の年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(2) 費用削減	こども病院	3		両病院ともに、コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定や病院施設の長寿命化、計画的な施設更新・修繕維持などを行い、費用削減に取り組んでいることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		
(3) 収支改善	こども病院	3		福岡市立こども病院では、病床利用率の向上や費用削減等により、年度計画で想定していた当期純損失を縮減し、福岡市民病院では、増収対策や費用削減に積極的に取り組み、当期純利益を大きく確保した結果、経営に関する目標値を達成できていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
市民病院	3				
第4 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置					
1 新病院の整備及び運営に関する取組	こども病院	4		市民に親しまれる病院づくりを推進するため積極的に情報発信を行ったこと、また、必要な医師及び看護師等を増員するとともに、新人教育等を徹底し、一般病棟については本格稼働に移行し、GCU等についても稼働病床数が拡大したほか、国家戦略特区を活用し産科病床を6床増床したことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	
	市民病院	4		医業収益は大幅に増加し、医業収支比率は目標値を上回ったことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ

大項目	小項目		小項目 評価案	ウエイト	ウエイトを考慮した項目数					大項目評価案	
					評価5	評価4	評価3	評価2	評価1		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						20	4			24	A (計画どおり 進んでいる)
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	4	2		2			9		
		市民病院	4	2		2					
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4	2		2					
		市民病院	4	2		2					
	(3) 災害時等の対応	こども病院	3	1			1				
		市民病院									
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	4	2		2		6			
		市民病院	4	2		2					
	(2) ボランティアとの共働	こども病院	3	1			1				
		市民病院	3	1			1				
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4	2		2	9				
		市民病院	4	2		2					
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	4	2		2					
		市民病院	4	2		2					
	(3) 法令遵守と情報公開	こども病院	3	1				1			
		市民病院									
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							3		3	A (計画どおり 進んでいる)	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	こども病院	3	1			1	3				
	市民病院										
	2 事務部門等の専門性の向上	こども病院	3	1				1			
	市民病院										
	3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	こども病院	3	1			1				
	市民病院										
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						2	9			11	A (計画どおり 進んでいる)
1 経営基盤の強化	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	こども病院	3	2			2	3			
		市民病院									
	(2) 投資財源の確保	こども病院	3	1			1				
		市民病院									
2 収支改善	(1) 増収	こども病院	3	2			2	8			
		市民病院	4	2		2					
	(2) 費用削減	こども病院	3	2			2				
		市民病院									
(3) 収支改善	こども病院	3	2			2					
	市民病院										
第4 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置						4				4	A (計画どおり 進んでいる)
1 新病院の整備及び運営に関する取組	こども病院	4	2			2	2				
2 福岡市民病院の経営改善の推進	市民病院	4	2			2	2				
計						26	16			42	

【大項目評価基準】
 評価S・・・中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある。
 (評価委員会が特に認める場合)
 評価A・・・中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。
 (すべての小項目が3～5)
 評価B・・・中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる。
 (3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)
 評価C・・・中期計画の実現のためにはやや遅れている。
 (3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)
 評価D・・・中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。
 (評価委員会が特に認める場合)
 なお、小項目評価結果の割合を算定するにあたっては、ウエイトを考慮した小項目数によるものとする。